

※主な改良点(今後も随時改良作業を行っていきます。)

表示情報を簡単に保存・共有できるようになります



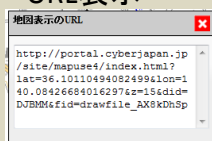
・HTMLファイルの保存



・作図情報を含んだHTMLファイルを保存できます。

・マウス操作で地図のスクロールや拡大縮小も可能。

・URL表示



・表示したURLにアクセスすると、作図情報を含んだ電子国土Web.NEXTが起動します。

・例えば、URLをメールにコピーすることにより、簡単に情報共有ができます。

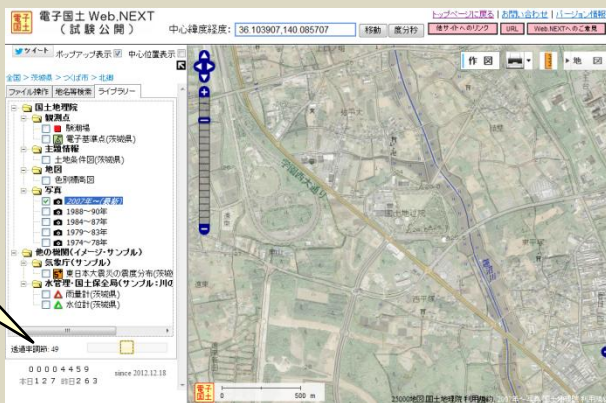
作図終了後に「保存」

・KMLファイルの保存

・他のGISソフトウェアでも扱うことができます。

地図と空中写真の重ね合わせ表示ができるようになります

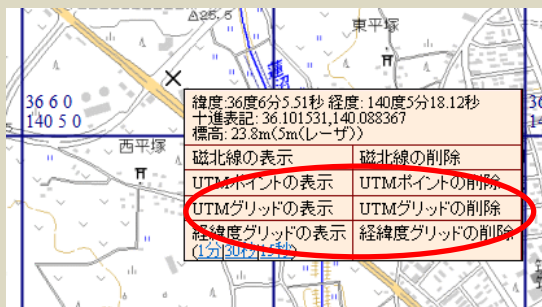
チェックボックスで色別標高図が写真を選択。
スライダーで透過率が変わります。



・左は、標準地図に空中写真を重ねて表示した例。空中写真の位置特定が簡単にできます。

・二時期の空中写真を重ねて表示することもできるので、土地の変遷が簡単にわかります。

右クリック機能の追加



・迅速な場所の特定や正確な情報共有に資する、グリッド表示機能等を追加します。

情報の重ね合わせ表示



・国土地理院が配信する上載せ情報をon/offできます。
・手持ちの情報と併せて表示できるので、資料作成の効率化や各種検討作業の高度化が期待できます。